

立総企第780号
令和5年8月28日

議員各位

立川市長 清水 庄平
(公印省略)

豪ダーウィン沖でのMV-22クラッシュ報道について

標題の件について、北関東防衛局から情報提供がありましたので、次のとおりお知らせします。

記

●海兵隊ローテーション部隊ダーウィン プレスリリース

【海兵隊ローテーション部隊ダーウィン所属のMV-22Bオスプレイの落下について】

オーストラリア北部のダーウィンの北側に位置するメルヴィレ島にて海兵隊MV-22Bが、定例の訓練で隊員を輸送している間に落下したことが確認されました。

事故発生時間は現地時間8月27日朝9時30分頃。当該機体には、23名が搭乗しており、そのうち3名死亡、5名が重症でロイヤルダーウィン病院に搬送されました。

搭乗していた海兵隊員は、「プレデター・ラン」に参加しており、現在、復旧作業が行われている。事故の原因は調査中。状況の進捗があり次第、詳細な状況を提供する。

なお、本件に関して、横田基地周辺5市1町において対応を協議中です。

問い合わせ先 企画政策課 渡貫 (内)2158

議員各位

立川市長 清水 庄平
(公印省略)

**オーストラリアにおけるMV-22Bオスプレイ墜落事故の原因等に関する情報
提供について（申し入れ）**

標題の件について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、北関東防衛局長に対し申し入れをしましたので、お知らせします。

記

**●オーストラリアにおけるMV-22Bオスプレイ墜落事故の原因等に関する情報
提供について（申し入れ）**

令和 5 年 8 月 27 日、オーストラリア北部のダーウィンの北側に位置するメルヴィレ島にて米海兵隊のMV-22Bオスプレイが、定例の訓練で隊員を輸送している間に落下したことが確認されたとのことである。

MV-22Bオスプレイについては、昨年 6 月に米カリフォルニア州で墜落事故が発生しており、本年 7 月、米海兵隊が同事故の調査を公表し、事故の原因及び再発防止策を明らかにしたところである。

今回のオーストラリアにおける事故については、その原因は調査中とのことであるが、昨年発生した事故の再発防止策が実施された後に発生した墜落事故であることから、基地周辺住民がオスプレイの安全性や飛行運用に対する不安を更に募らせることも懸念される。

基地周辺住民の不安が解消されるよう、今回の墜落事故の原因や安全対策、本事故を受けての在日米軍の対応など詳細な情報の提供を迅速にお願いする。

問い合わせ先 企画政策課 渡貫 (内)2158